

—お買い上げありがとうございます—

ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は、必ずお読みになり安全にお使いください。そのあと大切に保管し、必要なお読みください。

LVT0972-001A

ご相談や修理は

本機についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談
ビクターサービスエンジニアリング株式会社

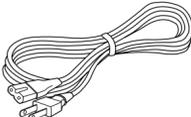
別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。

お買い物相談や製品についての全般的なご相談
お客様ご相談センター

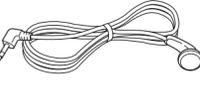
東京 ☎ (03)5684-9311
FAX(03)5684-9317
〒113-0033
東京都文京区本郷三丁目1番4号 ビクター本郷ビル

大阪 ☎ (06)6765-4161
FAX(06)6765-4891
〒550-0013
大阪市西区新町3-1-31 新町レナウンビル

付属品



電源コード（1本）



イヤホン（1個）

お買い上げ時は、本体イヤホンポケットの中にあります。

ビクターインターネットホームページアドレス
http://www.jvc-victor.co.jp/
日本ビクター株式会社

パーソナル&モバイルネットワークビジネスユニット
〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1
☎(027)254-8952

©2002 VICTOR COMPANY OF JAPAN,LIMITED

1002NSMMACSNG

取扱説明書

ゆっくり！はっきり！
聞き取りやすい
新開発 聴取補助システム搭載
経済産業省の委託事業「高齢者・障害者等用
情報通信機器開発事業」の支援を受け開発

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書

所定事項の記入及び記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。

保証期間はご購入の日より1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

ラジオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、**ご購入先**、または別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、お客様の要望により有料で修理させていただきます。

修理を依頼されるときは

この取扱説明書に従ってお調べください。それでもなお不具合のあるときは、使用を中止し、**お買い上げの販売店**に修理をご依頼ください。

主な仕様 一本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

受信周波数	TV: 4~12チャンネル FM: 76 MHz~108 MHz (TV1~3チャンネル) AM: 530 kHz~1 605 kHz
スピーカー	10cm×1、インピーダンス4Ω
出力端子	イヤホン×1
実用最大出力	800 mW(JEITA*)
電源	AC100 V、50 Hz/60 Hz DC6V、市販の単2形乾電池4本使用
消費電力	電源「入」時 3.5 W 「切」時 1.6 W (AC電源) 「切」時 0.0001 W (乾電池)
電池持続時間	単2形(LR14)アルカリ乾電池使用時 (JEITA*)

使用状態	放送	TV	FM	AM
電池長持ち「入」時		約82時間	約82時間	約100時間
電池長持ち「切」時 (ゆっくり「入」時はっきり機能使用時)		約32時間	約32時間	約36時間

周囲の温度や使用状況、電池のメーカーや種類により、上記の電池持続時間と異なることがあります。

最大外形寸法 幅203 mm×高さ196.5 mm×奥行138 mm(JEITA*)

質量 約1.6kg (乾電池含まず)

*JEITAは日本電子情報技術産業協会の規格による数値です。

- お知らせ**
- 本機のテレビ受信回路は、FM放送の受信回路と兼用しています。地域によっては、テレビの2chまたは3chの音声を聞いているとき、FM放送の音が混じって聞こえる事があります。
 - 本機のスピーカーは防磁タイプではありませんので、テレビの近くに設置すると色ムラを生じることがあります。テレビの近くに設置するときは1m以上離して設置してください。

お手入れ

- 本体のお手入れ**
- 本体が汚れたときは、乾いた布でふいてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を少し布につけて軽くふいたあとからふきします。
- お知らせ**
- アルコールやシンナーなどは使用しないでください。
 - 化学ぞうきんを使用するときは、その注意書きに従ってください。

安全上のご注意 —はじめにお読みください—

絵表示について

この取扱説明書と製品には、お使いになる人や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。

- 表示の注意文を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を次のように区分し、説明しています。よくお読みのうえ正しくお使いください。

	警告	この表示の注意文を守らないと、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。
	注意	この表示の注意文を守らないと、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

絵表示について

●絵表示の内容

	注意をうながす記号		行為を指示する記号		行為を禁止する記号
一般的注意	感電	一般的指示	電源プラグを抜く	禁止	分解禁止

警告

- 万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。
 - 煙が出ている、へんなにおいがするとき
 - 内部に水や異物が入ってしまったとき
 - 落としたり、破損したとき
 - 電源コードが傷んだとき(芯線の露出や断線など)
- 本機の中に物を入れない。
 - 通風孔などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む
 - 差し込みが不完全ですと、発熱したりホコリが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。
- 分解や改造をしない。カバーを外さない。
 - 火災や感電の原因となります。内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 風呂場やシャワー室では使用しない
 - 本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけない
 - 電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。
 - 電源コードを加工しない。
 - 電源コードを無理に曲げない。
 - 電源コードを引っ張らない。
 - 電源コードを暖房器具などに近づけない。
 - 電源コードの上に家具などの重いものをせない。

注意

- 電源プラグはコードの部分を持って抜かない。
 - 電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となります。電源プラグを持って抜いてください。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
 - 感電の原因となります。
- 置き場所に注意する。
 - 次のような所に置くと、火災や感電の原因となります。
 - 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
 - 湿気やほこりの多い所
 - 暖房器具の近くなど高温になる所
 - 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所
 - 窓を閉めきった車の中や直射日光の当たる所
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。
 - 電源スイッチが「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- お手入れをするときは、電源プラグを抜く。
 - 電源スイッチが「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となります。
- 移動するときは、電源プラグを抜く。
 - 接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
- はじめから音量を上げすぎない。
 - 突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。電源を入れる前に音量(ボリューム)を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。
- イヤホンを使用するときは、音量を上げすぎないようにする。
 - 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力障害を起こすことがあります。
- 電池の取り扱いに注意する。
 - 電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。
 - 指定以外の電池を使用しない
 - 電池のプラス⊕とマイナス⊖を間違えない
 - 電池のプラス⊕とマイナス⊖をショートさせない
 - 電池を加熱しない
 - 分解しない
 - 火や水の中に入れない
 - 新しい電池と一度使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使用しない
 - 乾電池は充電しない
 - 長期間使わないときは、電池を取り出しておく

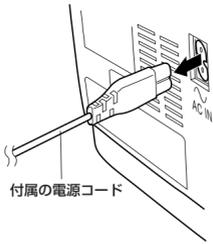
もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよくふきとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

ラジオを聞く前に

乾電池で使う場合

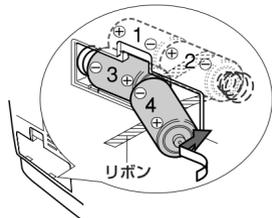
1 電源コードを本体の AC IN 端子から抜く。

電源コードが本体につながれていると、乾電池では使用できません。

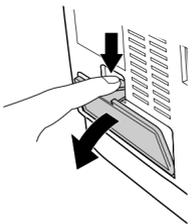


3 単2形乾電池（市販）4本を番号順に入れる。

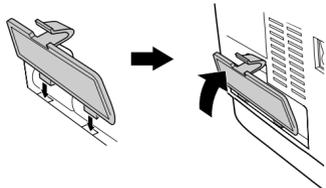
乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを表示どおり正しく入れてください。乾電池の下にリボンを敷いておくと取り出すときに便利です。



2 電池入れのふたを外す。



4 電池入れのふたを元通りに閉める。



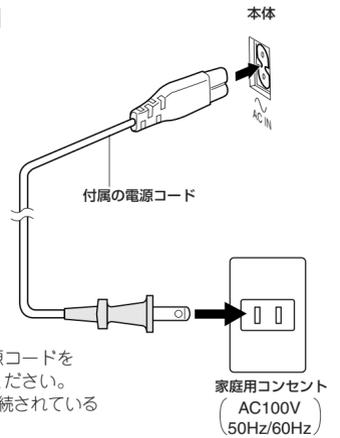
お知らせ

- 長い間お使いにならないときは、乾電池を取り出しておいてください。
- 乾電池が消耗してくると音が小さくなったり、音が割れたりします。このようなときは、4本とも同じ種類の新しい乾電池（アルカリ乾電池など）と交換してください。交換するときは、リボンを引っ張ると乾電池が取り出しやすくなります。

家庭用コンセントで使う場合

1 電源コードを本体の AC IN 端子に差し込む。

2 家庭用コンセントへ差し込む。



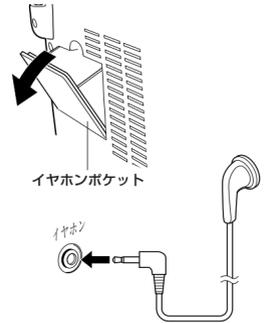
お知らせ

- 長い間お使いにならないときは、電源コードを家庭用コンセントから抜いておいてください。電源が切れていても、電源コードが接続されていると約1.6Wの電力を消費します。

イヤホンを使う場合

1 イヤホンポケットからイヤホンを取り出す。

使わないときは、ここにイヤホンを入れておくと便利です。



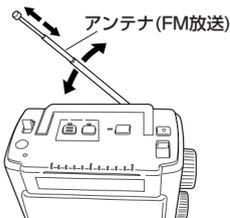
2 イヤホンをイヤホン端子に差し込む。

スピーカーから音が出なくなります。

ラジオを聞く

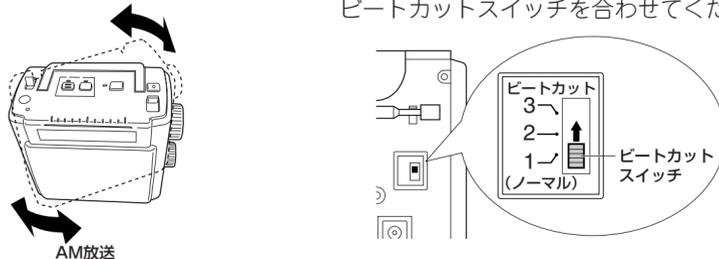
FM放送の場合

- 窓際に置くと受信しやすくなります。アンテナの長さ・向き・角度をもっとも良く受信できるように調節します。



AM放送の場合

- ラジオ本体をもっとも良く受信できる向きに変えます。
- ピーという音（ビート音）が出て聞きづらいときは、ビート音が小さくなる位置にビートカットスイッチを合わせてください。



お知らせ

- 車やビルの中などでは受信しにくくなります。
- 本体を金属製の机などに近づけると、受信状態が悪くなることがあります。

ご注意

- アンテナを伸ばしたまま持ち運ぶと、けがの原因になります。持ち運ぶときは、アンテナをたたんでください。

聞き直し

もう一度聞きたいとき

聞き直しボタンを押します。ランプが点灯し、押す直前の最長10秒間の音声をくり返して聞くことができます。もう一度押すとランプが消えて、聞き直し機能が解除され通常の放送に戻ります。

お知らせ

- くり返しの音声の最初の部分には、1秒間の無音が入ります。
- 聞き直しランプ点灯中は、音声がくり返されます。
- 解除してから10秒以内に再びボタンを押すと、くり返し時間は解除してからボタンを押すまでの時間になります。
- 解除してから1秒以内にボタンを押すと、聞き直し機能は動きません。
- 通常の放送に戻るときや、バンド切替・選局をするときは、聞き直し機能を解除してください。

ゆっくり

話し声が速くて聞き取りづらいとき

ゆっくりボタンを押します。ランプが点灯し、早口の話し声がゆっくり聞こえます。もう一度押すとランプが消えて、ゆっくり機能が解除され通常の速度に戻ります。

お知らせ

- 放送の内容によっては、効果が得られないことがあります。
- ゆっくりランプ点灯中は選局がしにくくなります。選局をするときは、ゆっくり機能を解除してください。

はっきり

音楽が聞きづらいとき

話し声が聞き取りづらいとき

はっきりスイッチを、放送内容に合わせて切り換えます。

- 音楽：音楽が明瞭に聞こえます。
- 切：はっきり機能は動きません。
- ニュース：話し声が聞き取りやすくなります。

お知らせ

- 雑音が多い場合は、効果が得られないことがあります。

聞き直し機能・ゆっくり機能・はっきり機能は全て同時に使用できます。

電池長持ち

「入」にすると電池が長持ちします。この場合、聞き直し機能・ゆっくり機能・はっきり機能は使用できません。

お知らせ

- 家庭用コンセントでお使いのときは、電池長持ち機能が動きません。

1

電源スイッチを押して「入」にする
電源を切るときは、もう一度押して「切」にします。

2

バンド切替スイッチを「AM」、^{チャンネル}「FM/TV1-3ch」または「TV4-12ch」のいずれかに合わせる
バンドを切り換えると目盛板も切り換わります。

3

選局つまみを回して聞きたい放送局を選ぶ
ダイヤル指針を放送局に合わせて。放送を受信すると同調ランプが点灯します。

4

音量つまみで適度な音量に調節する

おやすみタイマー

1 電源スイッチを押して「切」にする

2 おやすみタイマーボタンを押す

おやすみタイマーのランプが点灯し、聞いていた放送局を受信できます。約60分後に電源が自動的に切れます。

おやすみタイマーを途中で解除するには

おやすみタイマーボタンをもう一度押します。ランプが消えて、おやすみタイマーが解除され電源が切れます。

お知らせ

- おやすみタイマーは電源が入っていると設定できません。
- 乾電池でお使いの場合、乾電池が消耗しているとおやすみタイマーが動かないことがあります。

選局目印

よく聞く放送局を選局したいとき

よく聞く放送局に選局目印を合わせておきます。選局目印を目安に選局つまみを調節すると選局しやすくなります。

